

インターネットにおけるソーシャルメディアの利用について（清水西高校メディアポリシー）

近年、私たちの生活では「LINE（ライン）」によるやりとりが日常的となり、「Twitter（ツイッター）」や「Facebook（フェイスブック）」、「TikTok（ティックトック）」などソーシャルメディアを利用している生徒も増えています。携帯電話（スマートフォン）、携帯型タブレット等は大変便利なものですが、注意して利用しないと日常生活に悪い影響を及ぼしたり、トラブルの原因となって知らないうちに被害者や加害者になったりする恐れがあります。ソーシャルメディアを利用するときには、一度立ち止まってよく考え、責任ある行動をとることが求められるのです。

次にあげる「メディアポリシー」について、ソーシャルメディアを利用する上での基本的な考えとして、皆さんに理解を求めたいと思います。

1 インターネットは自分たちの仲間だけでなく、全世界につながっています。

- ・あなたが発信した情報は、世界中の人が見ることができます。また、インターネット上にアップされた情報は完全に削除することはできません。
 - ・軽い気持ちで他人を撮って掲載した写真などがインターネット上でコピーされ、他人の手に渡っているかもしれません。また、あなたが悪いと思わず書き込んだ言葉でも、他人から見れば不快に思うこともあります。「ブログ」と「個人的な日記」の違いに気づきましょう。
- ※あなたがインターネット上で発信や行動を起こす際、常に世界中の人が見ている可能性があるということを意識してください。そこから起こりえる被害を、一度立ち止まって考えましょう。

2 個人情報や不用意な書き込み、個人への誹謗中傷や尊厳を傷つける行為を絶対にしない

- ・個人が特定される個人名、学校名、住所、電話番号、クラス、年齢、性別、あだ名等は絶対に記載しないようにしましょう。
 - ・顔写真はもとより、制服やユニホーム姿での写真、無断で撮影した他人の写真、写真についての位置情報などからも個人が特定されてしまいます。
 - ・犯罪や法律違反を疑わせるような書き込みや写真の掲載は、多くの人に大きな迷惑がかかります。実際に損害賠償を請求される場合もあります。
- ※記載した情報や写真は、インターネット上で永久に残ります。将来、軽い気持ちでやってしまったことで、後悔しないためにも細心の注意が必要です。
- ※クラスの友人や他人を傷つけるような掲載は、決して許されません。また、クラスの友人や他人を傷つける悪口、秘密や性的な内容は、つぶやきであっても掲載してはいけません。

3 コミュニケーションの基本は「相手の顔を見て話すこと」

- ・本当に伝えたいことは、相手の顔を見て話しましょう。また、あなたと友人とのやりとりを、軽い気持ちで他の人にも伝えたり、スクリーンショットなどで送ったりすることは、友人関係を壊す原因となります。「活字だけの世界」では、言葉が独り歩きをしてしまいます。
- ※友人が利用しているから、あなたも利用しなければならないというものではありません。「見ない」「気にしない」こと、利用をやめることも一つの方法です。勇気を持って行動することも、時には大切なことです。
- ※ソーシャルメディアのことで困ったときは、一人で悩まずに、保護者や先生など、身近な大人に相談しましょう。また、ソーシャルメディアを利用したことで、悩んだり傷ついたりしている友人を見かけたり、耳にしたりしたときは、すぐに相談するようにすすめましょう。

4 保護者の皆さまへ（お願い）

近年、スマートフォン等によるトラブルが多く発生しています。また、深夜まで利用し学校生活や学業に影響が及んでいる様子もうかがえます。生徒がソーシャルメディアを利用することは、スマートフォン等を「持たせること」「使わせること」「使用上のルールを守らせること」などと同様に、保護者の方々の責任となります。御家庭でのスマートフォンのルールをつくり、お子様の安全を確保してください。万が一、犯罪や法律に違反する行為があった場合、学校として毅然とした対応をとらざるをえません。是非とも、御家庭でも御指導をよろしくお願いいたします。